

三行詩コンクール入賞作品

「楽しい子育て全国キャンペーン」～家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

小学生の部

■学校賞 白山市立広陽小学校

■優秀賞

久田 ゆいと 白山市立広陽小学校 3年

かわってしまったのとの道
ガタガタでこぼこ
のとのばあちゃんち
かわらないニコニコばあちゃん

田中 慶太 穴水町立穴水小学校 6年

ぼくは生きている
地しんで亡くなった人の分まで生きることが
ぼくの役目だ

こうさい とうま 白山市立広陽小学校 4年

ごめんなさいをはやく言うのが家のルール
正直に言うのは不安だけど
ごめんなさいを言うとほっとする

柳田 理菜 輪島市立町野小学校 5年

お父さんのだって、大好き
大きくなったからそろそろ卒業って言われるけど、
まだだってしてほしい
お父さんのだっては世界一

はま田 音や 野々市市立菅原小学校 2年

一人であそぶとまあまあたのしい
二人であそぶとけっこうたのしい
かぞくであそぶとめっちゃくちゃたのしい

■佳作

高木 莉乃 白山市立広陽小学校 3年

ママの手はまほうの手
ママが手をにぎって大丈夫だよって言うと、
えがおになれる
ママがギュッとしてせなかをなでてくれたら
あんしんする
ママの手は、わたしだけのまほうの手

菊井 琉翔 羽咋市立瑞穂小学校 4年

朝の通学バス
いつも手をふってくれるお母さん
はずかしいからぼくは手をふらないけど、
心の中で「いってきます」

中学生の部

■学校賞 穴水町立穴水中学校

■優秀賞

山森 奈南 羽咋市立邑知中学校 1年
悲しいとき
誰にもバレていないのに
私の思いに 気づく母
やっぱり母には敵わない

藤岡 大和 羽咋市立邑知中学校 3年
地震で家が崩れても
家族の絆は崩れない

山形 侑愛 七尾市立中島中学校 3年
「ほっといて！！」
言われて ほっとく
親はなし

■佳作

松本 七海 羽咋市立邑知中学校 3年
「アレってどこ？」「あそこだよ」
「アレとってー！」「はい どうぞ」
「アレ」だけで伝わるのがふえている。
さすが親子歴 15 年。

山崎 紗菜 穴水町立穴水中学校 3年
能登地震 初めて知った
電気なし 水なしのつらさ
家族の笑顔で前進できた

沢田 音 穴水町立穴水中学校 3年
拍手だけねと言ったのに
大声で応援している母
いつも ありがとね

川端 駿介 珠洲市立大谷小中学校 9年(中3)
あんたは「はよ寝ろ」って言うのに
夜遅くまで家事してる
俺こそ言ってやる
「はよ寝ろ」

一般の部

■優秀賞

松原 久美子 小松市立松陽中学校
一番守るべきは我が子の笑顔
ただ、そのために前を向く
あの日から、これからも。

中川 聡美 野々市市立菅原小学校
障害で 出来ないと決めつけていたのは
親のほう
諦めず 続けたことで出来るようになった
我が息子
やればできる 子どもの可能性は 無限大

片山 麗 志賀町立志賀小学校
声で分かる あなたの心の調子。
無理しなくていいんだよ。
心の声、ちゃんと届いているよ！

■佳作

源 美希 野々市市立菅原小学校
「お母さん」
「ママ」と呼ぶ姿ふと思い出す
ともに感じる子の成長
胸がジンと熱くなる

川村 悠子 志賀町立富来小学校
地震でなくしたものが多かった
でも あなた達が居て本当によかった
それだけで 今日も生きようと思えます
今日を大切に生きようね
明日を信じて歩もうね

酒井 愛 羽咋市立邑知中学校
大きな地震を経験して、あの時
離れていたから、足が震え涙があふれて。
今、近くにあたりまえのように笑いあえる家族
がいてくれることが何よりの幸せだと、改めて
感じるね。

山岸 あき子 羽咋市立邑知小学校
川の字で寝てもだんだん “1” になる
ぎゅうぎゅう詰めに慣れすぎて
たまに一人のシングルベッド広すぎる